



准フォレスター研修前期2回目  
研修初日(H24.7.2)

①  
第2回准フォレスター研修のスタートです。  
まずは池田計画部長から挨拶です。

森林・林業再生プランの機動力となるフォレスターに対する期待と民国連携した地域林業振興への希望等について熱い思いを語っていただきました。



②  
開講挨拶のあとはオリエンテーション。  
今回研修の進行管理役であるプロセスマネージャーは藤野正也さんです。

最初に研修の目的やこの研修で会ってほしい事柄等について身振り手振り(+京都弁?)を交え説明しました。



③  
いよいよ講義のスタートです。  
最初の講義は「私、林野庁の川村竜哉講師が担当いたします。」ということで始まりました。

内容は、フォレスターの役割や森林づくりについて終日まで(半日間)講義をしました。



④  
振り返りの時間です。  
今日を振り返って、発見したことや気づいたこと、調べてみたいこと等忘れないよう今日の自分に対してメモを残します。



⑤  
振り返りのメモを書き終えた後は、各人が記入した内容を班内で共有するため、1人ずつメモを読み上げます。



⑥  
研修はグループ(班)にまとまって演習する機会が多いのが特徴で、座席も班毎にまとまった配置になっています。

ほとんどの人がこの日初顔合わせです。メモの読み上げは人となりを知る意味でも役に立っています。



## 研修2日目(H24.7.3)

①  
2日目の午前中も川村講師による市町村森林整備計画や森林経営計画に関する講義です。研修生から様々な質問が出されます。



②  
講師は各班を回って質問や疑問に対応します。可能な限りゴミと疑問は残して帰らないというのがこの研修です。



③  
もちろん、答えることが難しい問題や答えのないこともあります。そんな時は研究者等の専門的な観点から助言や示唆をしてもうこともあります。

この時はたまたま見学に来ていた森林総合研究所の田中浩さんから助言をしてもらいました。



④  
続いて午後からはこの研修最初のグループ演習となります。演習の説明を行ったあと演習のスタートです。

用意された資料(図面や森林情報)に基づき道の作設と森林整備事業を計画します。



⑤  
グループ演習を通じて班員それぞれの経験や知識に基づく多様な考え方や意見を班全体で共有することができます。



⑥  
班でまとめた内容を全体で共有するため班毎に発表します。

また、林野庁の鶴園重幸講師から全体を通して講評のあと、各班は明日の午後に現地確認をするので、どこに行くのが目星を付けます。



### 研修3日目(H24.7.4)

①  
今日は1日現場です。  
午前と午後に分かれて2箇所を  
回ります。  
写真は午前中の現場です。

まずは現況を把握し、将来どの  
ような森林にしていけるか、また、  
そのために必要な施業は何か、  
現地を見ながら考えます。



②  
発表も現地(林内)で行います。  
きっと日頃の行いが良いので  
しょう。  
梅雨だというのに晴天です。林  
内での発表も気持ちがいいもの  
です。



③  
各班からの発表と質疑が全部  
終わったところで、講師から講  
評を行いました。

外部講師の内藤健司講師、田  
中浩講師それぞれから専門的  
な観点に基づく助言や意見をい  
ただきました。



④  
午後は昨日机上で検討した現  
場へ移動します。  
図面では分からなかったところ  
に行き確認します。  
決してタクシーを待っているの  
ではありません！  
道のフォーメーションを考えてい  
るのです。



⑤  
午後も現地で発表します。  
昨日室内で発表した内容と現地  
を見た結果どのように変更した  
のか、その理由も踏まえて説明  
します。



⑥  
全ての班の発表が終わった後、  
鶴園重幸講師等から講評を行  
いました。

やはり現地を確認して計画をつ  
くることが大切ですね。



### 研修4日目(H24.7.5)

①  
朝一番の講義はプロセスマネージャーの藤野さんが講師を務める「コミュニケーションとプレゼンテーション」です。(影絵の勉強ではありません)

言葉の伝え方、表現のし方など実体験を交えながらの説得力のある内容の話でした。



②  
「私の好きな木」というテーマで班内で1人ずつプレゼンテーションの練習をします。

聞き手は説明を聞いた感想等をメモにして全員の話が終わった後に発表者にメモを渡します。話し方について他人からアドバイスを受ける機会はなかなか無いのでとても参考になったと思います。



③  
次の講義は外部講師による「木材の流通・販売」について山田稔講師による広範囲(日本全国)の木材の需要動向や材の流通・マーケットの話など講師の実体験に基づく新鮮な話を伺うことができました。



④  
午後は松隈茂講師による労働安全、リスクアセスメントに関する講義からスタートしました。



⑤  
講義のあとはグループ演習です。施業の集約化、作業システムの検討、後継者の育成など各班テーマを決めて議論を進めます。



⑥  
現状を把握し、問題点を洗い出し、問題解決に向けた対処方法等について話し合います。

各人の意見を付箋に書き込み意見をまとめたのですが...なかなか難しいです。翌日の発表に向けてどの班も熱心な議論が続きます。



## 研修最終日(H24.7.6)

①  
あっという間に研修最終日の朝を迎えました。  
でも余裕がありません。  
発表に備え最終確認に専念しています。  
そして、、、いよいよ発表の時間が訪れました！！



③  
聞き手は地元の山林所有者や林業関係者など様々な立場になりきって話を聞き、質問をします。  
フォロスター役の発表者も質問に対し相手の立場になって誠意を込めて返答します。



②  
発表は紙芝居プレゼンテーション法で行います。  
仕事柄でしょうか、或いは昨日のプレゼン演習の成果でしょうか、話上手な方ばかりです。  
インパクトのある表現やジョークを交え聴衆を引き込みます。



④  
午後からは発表の講評です。  
研修生からはたくさん質問がありました。  
皆さん、様々な悩みを抱えていることが分かりました。  
後期も通して、この研修期間中に少しでも解決できるようみんなまで頑張っていきましょう！



⑤  
最後は一言スピーチ。  
1人1人が次回(後期)の研修までやるべきことを紙に書いて全員の前で宣言します。



⑥  
5日間、お疲れ様でした。  
次回の研修でお会いできることを楽しみにしています！